

Etsko Tazaki Piano

田崎悦子 | ピアノ

Joy of Music シリーズ第5回 ショパン

マズルカ集 (パデレフスキ版)

作品番号の付されたマズルカ全曲

Frédéric Chopin: Mazurkas (Ed. Paderewski)

Joy of Chopin

photo ©Keita Haginiwa

2023年 11月5日(日) 14:00開演 (13:30開場)


東京文化会館 小ホール (JR上野駅 公演口改札から徒歩1分)

■ チケット料金: 全席自由 一般5,000円 / 学生3,000円

■ チケット取扱い:

東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650 www.t-bunka.jp

イープラス eplus.jp (WEB / アプリ / Famiポート)

■ 主催: Joy of Music 

■ 問合せ・マネジメント・チケット取扱い: カメラータトウキョウ

☎03-5790-5560 www.camerata.co.jp

[電話での受付は平日10:00~18:00]

Joy of Music 過去のシリーズ
Past Concerts

第1回 Joy of Bach ■ '21 6/6 (SUN)

バルティータ 第1番 変ロ長調 BWV825

バルティータ 第4番 ニ長調 BWV828

バルティータ 第6番 ホ短調 BWV830

第2回 Joy of Brahms ■ '21 11/14 (SUN)

7つの幻想曲 Op.116 / 3つの間奏曲 Op.117

6つの小品 Op.118 / 4つの小品 Op.119

第3回 Joy of Schubert ■ '22 6/5 (SUN)

ピアノソナタ 第19番 ハ短調 D.958 (遺作)

ピアノソナタ 第20番 イ長調 D.959 (遺作)

ピアノソナタ 第21番 変ロ長調 D.960 (遺作)

第4回 Joy of Bartók ■ '22 11/6 (SUN)

Part 1 Piano Solo

「子供のために」より / 「14のバガテル」より

ハンガリー農民歌にもとづく即興曲

組曲「戸外にて」全5曲

Part 2 Chamber Music

ヴァイオリンソナタ第2番

2台のピアノと打楽器のためのソナタ

Etsko Tazaki Piano



Etsko Tazaki ピアニスト田崎悦子の半生

20世紀の指揮者ゲオルグ・ショルティに認められ、シカゴ交響楽団とバルトークのピアノ協奏曲No. 2で衝撃的なデビューを飾ったのは今や伝説となった田崎悦子。

1960年代に高校卒の少女が1人日本から国際的土俵の中心地ニューヨークに飛びピアニストとして研鑽を積み重ねた30年という歳月。様々な葛藤の中で、常に自分の手で自身の道を開拓しながらヨーロッパ、アメリカ全土、日本でソロやオーケストラと共演。世界的指揮者のサヴァリッシュとスイス・ロマンダ交響楽団、スラットキンとセントルイス交響楽団、デブリーストとロッテルダム・フィル、小澤征爾と新日本フィル他、世界の名だたる巨匠たちが名を連ねる。

アメリカ建国200年記念音楽祭では若きアメリカのホープとして選ばれ、ケネディーセンターでリサイタル、その折にはアメリカ人作曲家ジョージ・ロックバークの「パルティータ・ヴァリエーションズ」を世界初演する。

その他ルツェルン、マルボロ、アスペン、サイトウ・キネン、草津等の国際フェスティバルでも活躍。日本ではNHK交響楽団を始め多くのオーケストラと共演。2006年から3年がかりでバッハから21世紀までのピアノ史を横断する前代未聞の企画「田崎悦子ピアノ大全集」6回シリーズ、2015年には「3大作曲家の遺言」3回シリーズでベートーヴェン、ブラームス、シューベルトの最期の作品を演奏、そのゆるぎない音楽性とヴァイタリティーは音楽界の金字塔となり、NHK-BSプレミアムで複数回放送された。2018年は、19世紀の同世代、ショパン、シューマン、リストという愛と葛藤あふれる3人の作曲家に自身を重ね田崎悦子のみが語れる人生の光と影を紡いだ2回シリーズを行う。

また、2021年春より半年に一度ずつ「Joy of Music」リサイタルシリーズを開催、「Joy of Bach」「Joy of Brahms」「Joy of Schubert」を経て、第4回「Joy of Bartók」を2022年秋に行う。

大胆でドラマティック、同時に心を震えさせる繊細さを聴衆に訴え続ける田崎の音楽は年々深さを増し、一度聞くとその魂は奪われてしまうかのよう。

現在、ハヶ岳山麓に居住。2002年ピアノ宿舎「Joy of Music」を立ち上げ自然の中で若い世代に真の音楽のあり方を教示し、2022年秋にオール・バルトーク・コンサートで設立20周年を祝う。

桐朋学園大学特任教授他を歴任。

皆様の「声」

“Joy of Music”シリーズの初回、『Joy of Bach』に駆けつける。すっかり魅了されてしまった。心を奪われてしまった。

Joy(喜び)を感じる。スケールの大きさと繊細さ、地球の匂いを感じさせる人。(中略)自由奔放でパッションに溢れている。

——— 塩嶋史郎(60代・男性 / Facebookより)

全ての音に意味があり、意志があるようで、田崎さんもこうやって全てのことに全身全霊で生きてこられたのかな…と考えをめぐらせました。

自分の生き方や、仕事で悩んでいたのですが、「がんばってみよう」と勇気をいただきました。あたたかく、力強い演奏にとても心打たれました。

——— Y. M.(20代・女性 / コンサート アンケートより)

水をうったように静かなホールで曲と人生に対する情熱と愛と理解が、つむぎ出される一音一音に込められ、その音が、あるときは激流のように圧倒的迫力で、あるときには陽光をあびて輝きながら優しく迫る。そんな一時をすごささせていただきました。

——— M. Y.(50代・男性 / コンサート アンケートより)

Discography

●『3大作曲家の遺言シリーズ』全4枚セット

(「レコード芸術」特選盤)

Vol.1: ブラームスOp.117
ベートーヴェンOp.109
シューベルトD.958

Vol.2: ブラームスOp.118
ベートーヴェンOp.110
シューベルトD.959

Vol.3: ブラームスOp.119
ベートーヴェンOp.111
シューベルトD.960



●ショパン ファンタジア(「レコード芸術」特選盤)

●ドビュッシー&リスト(「レコード芸術」準特選盤)

以上、若林工房よりリリース

●バッハ:パルティータ第4番&第6番 モーツァルト:ファンタジーK.475(「レコード芸術」特選盤)

●シューベルト:ピアノ・ソナタ第20番&即興曲D.935

●シューベルト:ピアノ・ソナタ第21番&即興曲D.899

●シューマン:ダヴィッド同盟舞曲集&子供の情景 フランク:前奏曲、コラールとフーガ

●シューベルト:ピアノ・ソナタ第19番&楽興の時

●リスト:ピアノ・ソナタ / シューマン:クライスレリアーナ

●バッハ:パルティータ第6番他 / シューベルト:ピアノ・ソナタ第17番(コンサート・ライブ)

以上、カメラータトウキョウより発売中

公式Webサイト

「ピアニスト田崎悦子の世界」 www.etsko.jp